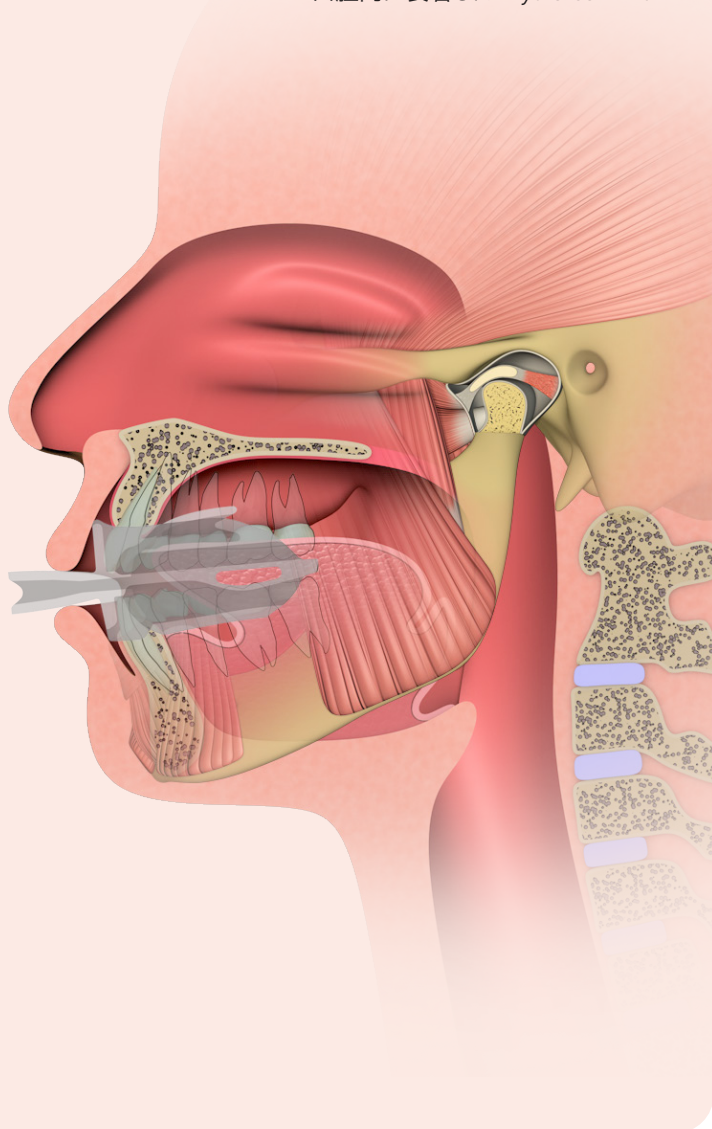


世界初、積極的に筋力トレーニングが行える口腔内筋機能装置

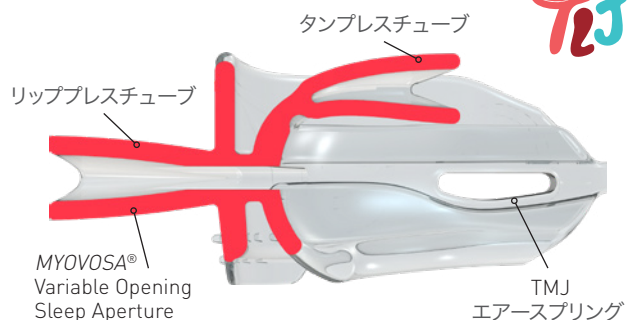
口腔内に装着した Myotalea® TLJ

不正咬合、BDS、顎関節障害、頭蓋顔面の発育不全のある患者には、舌、口唇、顎の筋力不足が見られます。これらの筋肉は、理想的な成長と機能には欠かさないものです。これらの筋肉を対象としたエクササイズは、長年使われてこなかったことによる筋力不足を解消します。

Myotalea® TLJは、特に舌、口唇、顎、咽頭および舌骨上筋群を積極的に強化するように設計された世界初の口腔内筋機能装置です。Myotalea® TLJの開発により、口唇閉鎖、舌、また咽頭と舌骨上筋群の筋力強化だけでなく、鼻呼吸への移行を、一つの総合的な装置システムで実現することができるようになりました。



Myotalea® TLJ - 断面図



装置の特徴

- リップレスチューブは、口唇閉鎖を改善し、鼻呼吸を確立するために必要な口唇の筋肉を強化します。
- タンプレスチューブは、舌の筋力と位置を改善します。
- TMJエアースプリングは、顎関節とこれに関連する筋肉の機能を改善します。
- Myo Variable Opening Sleep Aperture (MYOVOSA®)は、口呼吸から鼻呼吸への移行を補助します。

適用

- ✓ 小児、成人向けのMyosa®治療の一環として使用する。
- ✓ Myobrace®の呼吸及び舌のアクティビティ実施時に使用する。
- ✓ 口唇、舌、顎および咽頭の筋力強化が必要な場合、筋機能療法の補助装置として使用する。
- ✓ 舌骨上筋、咽頭筋群の筋力強化のため、顎を上へあげた状態で使用する。

MYOVOSA® -

慢性的な口呼吸者のための構造

慢性的な口呼吸の患者は、Myobrace®やMyosa®装置を夜間就寝中に口腔内に保持することが困難な場合があります。Myotalea® TLJ装置の新機能により、今後Myobrace®やMyosa®装置を使用する患者に対して効果的な治療を行うことができます。

TLJ装置のMYOVOSA®の開口部を口唇で繰り返し閉じることにより、慢性的な口呼吸を鼻呼吸に移行させることができます。また、TLJは下顎を前方位にすることで、咬合を挙上させ、気道を開きます。この目的で使用する場合、日中1時間使用してもらいます。1~2ヶ月間、毎日使用することで、慢性的な口呼吸の患者でも、夜間就寝中のMyobrace®、Myosa®などの保持力が改善します。